

# 過去問ライブラリー 判断推理

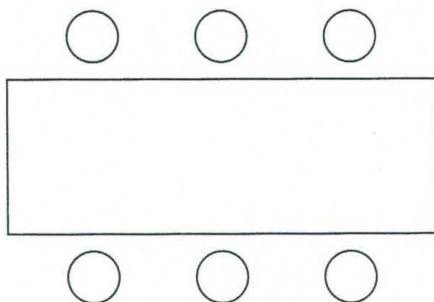
東京都 I 類 2009 位置関係

## 問題

A、B、Cの男性3人及びD、E、Fの女性3人が喫茶店で座った席の位置及び注文した飲み物について、次のア～ケのことが分かっている。

- ア A～Fの6人は、下図のように、長方形のテーブルを挟み向かい合って座った。
- イ Aの真向かいの人はコーヒーを注文しなかった。また、Aの真向かいの人の隣にはウーロン茶を注文した人がいた。
- ウ Bの隣にはコーヒーを注文した人がいた。また、Bの真向かいの人の隣にはレモンスカッシュを注文した人がいた。
- エ Cの真向かいにはEが座った。
- オ DとEは、テーブルの同じ側の両端に座った。
- カ レモンスカッシュを注文した人の真向かいの人は、緑茶を注文した。
- キ 紅茶を注文したのは1人だけであった。
- ク コーヒーを注文したのは2人で、いずれも女性であった。
- ケ A～Fは、それぞれ飲み物を1種類だけ注文した。

以上から判断して、紅茶を注文した人として、正しいのはどれか。



1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

### 解説

条件より、6人の注文した飲み物とその人数は、コーヒーが2人、ウーロン茶、レモンスカッシュ、緑茶、紅茶が各1人であることを確認します。

条件エ、オより、C、D、Eの位置関係は図1のようになります（上下左右それぞれの反転OK）。

また、条件ウ、カより、Bとその周りについて図2のように分かります（同様に上下左右反転OK）。

図1

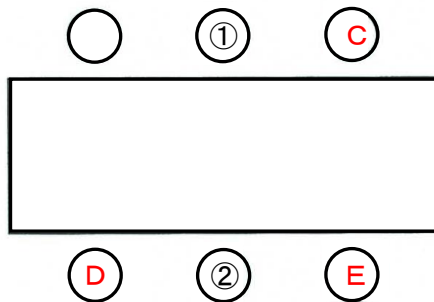
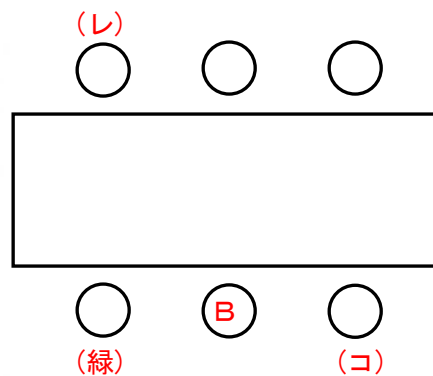


図2



ここで、図1に図2を重ねましょう。図2のBの位置は、図1の①、②のいずれかですので、ここで場合分けをします。

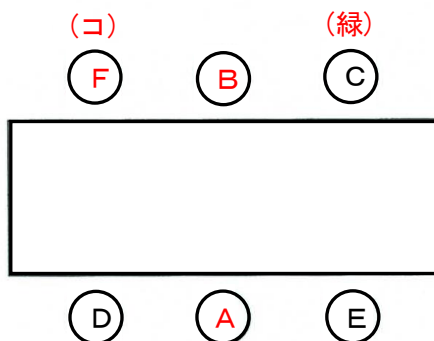
#### ①の場合

Bの両隣の人について、条件クより、コーヒーを注文したのは女性なのでCではなく、もう1人の女性であるFで、Cは緑茶を注文したことになります。

残るAがBの真向かいの人で、図3のようになりますが、これではAの真向かいの隣的人是はウーロン茶を注文したことになります、条件イに反します。

よって、成立しません。

図3

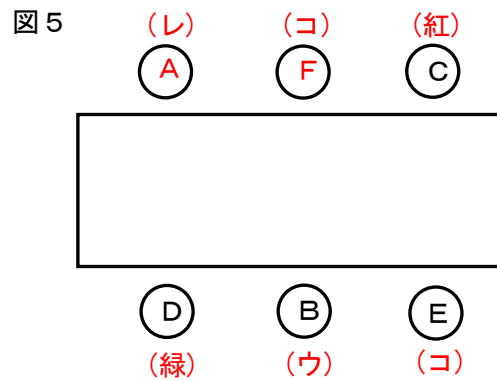
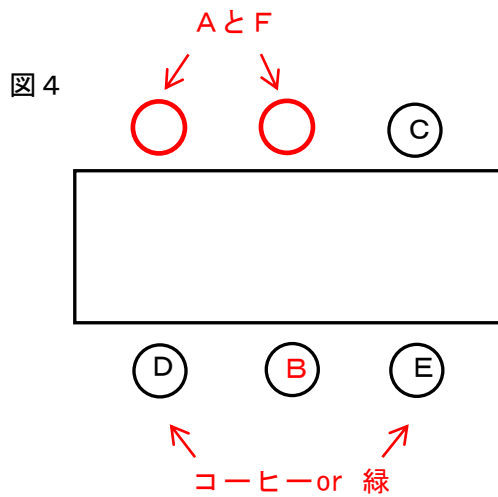


②の場合

図4のようになり、Aの位置はDの真向かいかBの真向かいのいずれかになりますが、AがBの真向かいだと、そのBの両隣の人(コーヒーまたは緑茶)を注文しており、やはり条件イに反します。

よって、AはDの真向かい、残るFがBの真向かいと分かり、条件イより、Dはコーヒーを注文せず、Bはウーロン茶を注文したことになります。

これより、コーヒーを注文したのはEとFで(条件ク)、図2より、Dは緑茶、Aはレモンスカッシュで、残るCが紅茶を注文したことが分かり、図5のように決まります。



よって、正解は肢3ですね。